

令和7年度 第56回東濃地区図工・美術教育研究協議会

恵那・中津川大会 開催要項 (配布用)

R7. 8. 吉日 恵那市大会事務局

はじめに

東濃地区では、図画工作科・美術科の指導を担う教師が指導力向上の研修と教育実践の研究・交流をはかる場として、東濃地区図画工作・美術教育研究協議会（東美協）を立ち上げ56年目となり、毎年継続して研究大会を開催しています。子どもの表現や作品を通して教師が研究・実践を交流・研修することは、東濃地区のほとんどの学校で各校に一人しかいない図工・美術教師にとって大変有意義な場です。

近年、図工・美術教育を取り巻く状況は大きく変化しています。小学校での教科担任制の広がり、ICT機器の利活用、指導と評価の一体化、個別最適な学びと協働的な学びの一体化といった教育全体にかかわるテーマについて、図工・美術の教科からどのような発信ができるでしょうか。教員志望者の減少、年代別の教員数の多少、図工・美術教師の減少（市教研の中小合同実施や他教科との統合東美協大会の2市合同開催）といった問題は、教科や研究組織の「持続可能性」についての問いを私たちに投げかけています。

こうした状況にあって、図工・美術の学びを通して子どもを育てることを志す私たちは、「つながる」「つなげる」ことを大切にしたいです。図工・美術の教師同士のつながり、学校内外の人材とのつながり、地域の自然や文化や産業とのつながり、子どもたちが暮らしている社会とのつながり、義務教育9年間でどのような力をどう系統的に学ぶのかという力のつながりが、各市から集まる実践からみえてきます。これが東美協大会の醍醐味であり、開催の意義と考えます。上述の図工・美術を取り巻く諸課題についても、解決の糸口がつかめるかもしれません。恵那・中津川大会がこのような豊かな学びの場となることを期待しています。

東濃地区の学校では図工・美術教師が一人もいない学校が多くあるため、当研究大会を指導力向上の研修の場にしていただきたいと願い、参加者には無料で研究実践資料を配付して造形・美術教育の充実を進めています。研究大会の開催地も、東濃地区5市で順に受けもっており、本会の活動及び大会開催にあたっては、東濃地区教育推進協議会、各市教育委員会・教育研究会の後援並びに支援（助成・補助や会場、教育施設使用の減免措置）をいただいています。

1 東美協・年一度の研究大会の目的・基本的な考え方

- 東濃地区の造形・図画工作・美術教育にかかわる教師が研究協議会をとおして、子ども達に力を付けるための教師の指導力を向上させることを目的とする。
- 東濃地区の幼・保・小・中・特別支援学校に、大会への参加を広く呼びかけ、造形・図工・美術教育の研修の場とする。
- 各市の幼・保・小・中・特別支援学校の子どもの作品を展示し、作品を基に研究会を行う。
また、**研究大会冊子（カラー版）、教材や教具、指導資料等を紹介・配布して専門性を高める。**
- 各市小・中学校代表者が実践を発表する。各市の参加者が主体的に参加できるように、実践交流会を位置付け、各地区の実践発表と意見交流を行う。

恵那中津川大会 テーマ

「つなげる」造形美術教育 ひと・くらし・ちから～子どもたちも先生もつくって楽しい授業を目指して～

2 大会日時・日程等について

(1) 日時：令和7年12月19日（金） 午後13時～16時 （12時受付開始）

(2) 会場：恵那文化センター（恵那市長島町中野414-1 電話(0573)25-5151）

(3) 日程

12:00	13:00	13:10	13:20	15:20	15:30	16:00
・受付 ・教材配布 ・作品展示 ・作品鑑賞	全体会 1 ・会長挨拶 ・来賓挨拶 ・日程説明	移動	実践交流会 ＊各市の実践紹介と交流	移動	全体会 2 ・ご指導（飛弾教育事務所） ・大会長お礼（大会長） ・大会旗受け渡し ・次年度開催地挨拶（多治見）	会場片付け

(4) 内容

- ① 受付・研究大会冊子配布、**提供資料教材配布**・作品展示・作品鑑賞
- ② **全体会 1** 会長挨拶・来賓挨拶・日程説明（10分程度で）
- ③ **実践交流会** 実践交流会（100分間 各市20分）＋自由交流20分
＊恵那→中津川→多治見→土岐→瑞浪の順 実践紹介と質疑応答
- ④ **全体会 2** ご指導・開催地お礼・大会旗受け渡し、次年度開催地挨拶（30分程度）
＊全大会終了後、会場片付け。

3 各市の研究の取組

- 県小図・中美教科研究会や東美協の研究テーマ・内容をもとに実践を行う。
- 各市小・中図工・美術部長は、市としてどのような研究テーマ・視点で研究実践を行っているのか発表できるように、焦点を絞って取り組むようリードする。
- 開催地の恵那・中津川市、東美協会員を中心に、図工・美術部員が「一人一実践」を行い実践集として研究大会冊子にまとめる。
- 作成した「研究大会冊子」は、参加者全員、開催市恵那市・中津川市内全学校と5市の教育委員会、ならびに東濃教育事務所に配付する。

4 東美協本部・研究部・事業部の取組

- 東美協本部は、年3回の役員研修会、夏の実践研究会、年1回の研究協議会（大会）等、東美協全体に関わる活動の企画・運営を行う。
- 研究大会の企画・運営は、東美協本部が大会開催市と連携してあたる。
- 東美協 本部：役員会、研究協議会等の企画・運営・事務（案内等の発送を含む）
研究部：研究内容（研究の視点）の設定、研究大会冊子作成（校正・印刷・製本）
事業部：開催市の会場設営の補助、作品展示、作品写真撮影・記録

5 作品展示・交流会について

- 各市の作品展示。（小・中の実践紹介者（代表）の実践を中心に）
- 作品搬入・展示は、当日の正午から開始。大会終了後に撤去搬出する。
- 実践交流会は、各市の部長が進行する。20分間で実践の紹介と質疑応答を行う。

6 東美協恵那中津川大会 会場図

